

NPO 21世紀水倶楽部 研究集会 開催と参加募集のご案内  
「下水道計画における降雨と雨水流出を考える」  
－計画降雨・合理式のレビューを中心に－

21世紀水倶楽部では、研究集会「下水道計画における降雨と雨水流出を考える」を、オンラインにより開催します。多くの皆様の参加をお待ちしています。

1. 開催趣旨

頻発する浸水被害、気候変動の影響を踏まえ、流域治水関連法の改正、下水道雨水計画に関連した制度改正が行われ、なかでも下水道事業計画の記載事項への計画降雨の追加（R3年11月施行）は特筆すべきことであった。国土交通省国土技術政策総合研究所における、全国における計画降雨強度式のアンケート調査（R2年度）など、計画降雨強度式のような雨水の基本的事項が注目されることは、ここ数十年なかったことである。また、計画降雨強度式等と、合理式等の雨水流出量算定手法は、密接に関連している。

本研究集会では、計画降雨と雨水流出という雨水対策の基本に焦点を当て、調査研究、実務例、また、改めて合理式等に関するレビューという面から、雨水の実務関係者等と議論を深める。これらを通じ、独特な解析手法が求められる雨水に関する理解を深めるとともに、雨水管理総合計画等の発展に寄与することを目指したい。

2. 開催日時：令和6年1月24日(水) 13:30～16:30

3. 開催方法：Zoomでのオンライン開催（募集人数80名）

4. プログラム 司会 秋山 礼子 21世紀水倶楽部理事

(1) 開催案内 13:30～

(2) 挨拶 栗原 秀人 21世紀水倶楽部理事長

(3) 発表

1) 13:40～14:05 下水道事業に用いる計画降雨の現状と課題

国土技術政策総合研究所 下水道研究部下水道研究室 主任研究官 松浦 達郎 氏  
(国総研が過去に実施した計画降雨に関する実態調査で判明した計画降雨の現状と、そこから見えた課題とその対応について、国総研での研究成果を踏まえて説明する。また、下水道事業と河川事業における計画降雨の設定方法の違いなどについても紹介する。)

2) 14:05～14:30 雨水管理計画策定における雨水流出量の評価と対策検討の留意点

日本水工設計株式会社 東京支社 課長 小林 岳文 氏  
(流域治水関連法の改正などを踏まえた雨水管理計画の策定における雨水流出量の適切な評価と対策検討実施のために理解しておくべき留意点について説明。)

3) 14:30～15:00 合理式等に関する歴史、深掘、提案

NP021 世紀水倶楽部、下水道アドバイザー 高島 英二郎 氏  
(合理式の本質たる流達時間及び降雨強度曲線式、これらの日本への導入、実験式との論争、様々に言われる合理式の解釈、降雨と確率など、歴史を踏まえ深掘りを行い提案する。)

休憩 (15分)

(4) 15:15～ 総合討論 (コーディネーター：阿部 洋一 21世紀水倶楽部前理事)

1) 発表に関する質問(30分程度)

2) 意見交換(30分程度)

聴講者との意見交換

発表者からの提案・コメント

まとめ

(5) 閉会 16:30

5. 参加費 無料

6. 参加申込み

・申込み : 令和5年12月22日(金)までに、研究集会参加登録フォームからお願いいたします。(但し、定員に達した時点で締切ります。)

・募集人数 : 80名

参加者には、後日、招待メールを送付しますので、必ず、zoomを使用する時のメールアドレスをご記入下さい。

7. お問い合わせ E-mail: <mailto:sympo-info@21water.jp>

8. 継続学習(CPD) 公益社団法人全国上下水道コンサルタント協会 CPD 認定プログラム  
申請中